

2020年2月映画興行部門興行成績速報

2月の東宝グループ会社の興行成績は次のとおりです(消費税等を含みます)。

東宝グループ館総合計

695スクリーン **興行収入** **4,998,581,001 円** **(前年比 85.8%)**

2月主要稼働作品

『ヲタクに恋は難しい』『スマホを落とすだけなのに 囚われの殺人鬼』『カイジ ファイナルゲーム』『ラストレター』
『僕のヒーローアカデミア THE MOVIE ヒーローズ:ライジング』『1917 命をかけた伝令』『パラサイト 半地下の家族』
『犬鳴村』『ミッドサマー』『AI崩壊』『ナイブズ・アウト/名探偵と刃の館の秘密』『嘘八百 京町ロワイヤル』
『バッドボーイズ フォー・ライフ』『MAN WITH A MISSION THE MOVIE TRACE the HISTORY』『スキヤダル』『ハスラーズ』『ジョジョ・ラビット』『キャッツ』『スター・ウォーズ/スカイウォーカーの夜明け』『アナと雪の女王2』
『劇場版 騎士竜戦隊リュウソウジャーVSルパンレンジャーVSパトレンジャー/魔進戦隊キラメイジャー エピソードZERO』
『侍の名のもとに ~野球日本代表 侍ジャパンの 800 日~』『チャールズ・エンジェル』
『劇場版 メイドインアビス -深き魂の黎明-』『フォードvsフェラーリ』『サヨナラまでの 30 分』他

1月から2月までの東宝グループ会社の累計興行成績は次のとおりです(消費税等を含みます)。

東宝グループ館総合計

興行収入 **10,530,743,351 円** **(前年比 90.9%)**

※ここでの東宝グループとは、TOHOシネマズ(株)、関西共栄興行(株)、(株)東京楽天地、オーエス(株)

以上4社が経営する映画館をいいます。

★TOHOシネマズ(株)、関西共栄興行(株)は、東宝(株)連結子会社

(株)東京楽天地、オーエス(株)は、東宝(株)持分法適用関連会社

※共同経営館(44スクリーン)のTOHOシネマズ分を含みます。

※「興行収入」とは映画館の入場料収入を指します。売店収入などは含まれておりません。